

『一生懸命』幻の新座市議会報告第101弾!



たかむらともや

③ 沖縄 1

2014年になりました。午年ですから、年男です。気合を入れていきます! 14日から16日までの3日間、「市民と語る会」の三人で沖縄に行ってきました。北大水産学部時代に奄美大島までは船で行った事があったのですが、沖縄に上陸したのは初めてのことでした。今回の視察の目的は沖縄県うるま市立勝連小学校の「平和教育」と那覇市若狭公民館の「NPO法人による取り組み」「沖縄市の「中心市街地活性化計画」を学ぶことでした。

しかし、僕には、昔からどうしても自分の目で見たい沖縄がありました。それが辺野古の海であり、普天間・嘉手納基地であり、読谷村の海とチビチリガマでした。



最初の訪問地、うるま市立勝連小学校の伊波先生から子ども達の作品を紹介して頂いているところです。勝連小学校の子ども達はあの沖縄戦を生き抜いたお年寄りの話を聞くことや、あの「対馬丸事件」(1944年8月22日、沖縄から本土に疎開する学童など1788人を乗せた学童疎開船「対馬丸」が、鹿児島県沖で米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没した。名前が判明しているだけで、779人の学童を含む1476人が犠牲になった。)の劇を演じることを通して、平和の大切さを学び、友達への思いやりを小さな胸に育んでいきます。小学校12年生の作文に涙が出てきました。僕たちは素晴らしい平和教育を学ぶことができました。

2014年 1月 31日発行



この綺麗な読谷の海から米軍は上陸してきました。1945年の4月1日に上陸が始まり、2日にはチビチリガマでの集団自決が起きたのです。



たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。
たかやんは五中の教え子達がつけてくれたあだ名。
教育を語らせたら、止まらない男」。東京青山で生まれ、新宿で育つ。新宿区立西戸山中学校で河合隆慶先生との運命の出会いがあり、超悪ガキが勉強を始め石神井高校へ。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し始め、猛勉強。奇跡的に卒業し、いきなり五中の一期生、3年4組を担当する。1981年、NHKの「おはよう広場」にあの尾木ママと出演。五中の1年2組が全国に紹介された。現在、糖尿病と格闘中。10月、11月、12月で300キロ走り血糖値を押さえている。年に1000キロ走るのが目標。同時にテニスにのめり込み、年齢別の日本一を目指している。「たかやん塾」で子ども達と一緒に勉強することが生きがいである。好きな言葉は「一生懸命」、好きなテニス選手はフェデラー、好きな女優はハン・ヒョジュ、川口春奈。



たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🙄 沖縄2



これがあの辺野古の海です。雨が降っていましたが、それでも綺麗な海でした。そこにある看板にはこう書いてありました。「私たちは、辺野古に新しいヘリ基地を造らせない。静かで豊かな生活環境の破壊を許さない。ジュゴンの住む豊かな海を守る。オスプレイの沖縄配備を許さない。大切な自然を子どもや孫に引き継ぐ。」と……。当たり前です。辺野古への基地移設が決まれば、僕が立っているこの場所も埋め立てられるのです。



これが世界で一番危険と言われている、普天間基地です。この写真の手前は住宅街です。ヘリコプターが何機も見えました。ここに来る途中、住宅地の上を、あの悪名高いオスプレイが飛行していました。安倍政権はここが危険だからと辺野古に移設しようとしている訳ですが、米軍基地を沖縄に押し付けてはいけません。戦後69年になろうとしているのですから、米軍基地には沖縄は勿論、日本にいない。そういう時代になってきたのではないのでしょうか。日米安保を破棄すれば、自然に日米地位協定を破棄することができるのですが..

🙄 嘉手納

これが、極東最大級の空軍基地と弾薬庫で有名な嘉手納基地です。昭和42年には4000メートル級の2本の滑走路を完成させ、実に町面積の約83パーセントにのぼる膨大な面積が同飛行場や嘉手納弾薬庫地区として接收され、住民は残された約17パーセントのわずかな土地での生活を余儀なくされているのです。考えられますか？ 広大な基地の周りの20%にも満たない土地で生活をしないといけない状態が1950年から64年も続いているのです。



🙄 右も左もない！

稲嶺候補が辺野古の海を守るべく、名護市長選挙に当選しました。当たり前と言えば当たりの結果です。沖縄に行って感動した言葉があります。それは「右も左もない。沖縄のことは沖縄が決める！」という言葉です。沖縄の名護市長選は日本の選挙の最先端を行っているのかも知れません。原発のことも同じです。「右も左もない」のです。子宮頸癌ワクチンの中止も同じです。「右も左もない」のです。これからの日本は右も左もないのです。一致団結して日本を守らなくてはならないのです。相手は近隣諸国だけではなくありません。同盟国と言われている米国もまた、日本の富を狙っています。それがTPPの正体です。日本のことは日本が決めなくてはなりません。「優勢民営化」がアメリカからの年次計画要望書に書かれていたことは有名ですが、それではいけないのです。戦後69年。そろそろ宗主国アメリカと決別し、自分の国は自分達の知恵で守るべき時にきていると僕は思います。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m